

第2節 環境情報・研究のネットワーク化

《保健環境科学研究所》

県環境科学研究所は、専門的な施設や高度な機器類を備えた保健・環境分野の試験研究機関として、県民の安心安全な生活を守るため、各種の試験検査、調査研究を行っています。

○大気環境分野

- ・大気環境測定車による大気環境調査
- ・工場・事業場のばい煙発生施設から排出される排ガスの調査
- ・降水の酸性雨調査
- ・大気中の有害大気汚染物質調査
- ・環境中の放射能をモニタリングする環境放射能水準調査

上記に関わる調査研究

○水質環境分野

- ・川や海、及び地下水の水質検査
- ・工場・事業場排水検査
- ・河川や海域の底質検査
- ・水生生物をめやすとした川の水環境調査
- ・ゴルフ場からの排水や周辺の地下水中の使用農薬検査
- ・産業廃棄物に関する地下水等の水質検査

上記に関わる調査研究

《林業研究指導所》

木材を長期間にわたり使用する必要がある場合は、防腐防蟻処理や耐久性が高い熱帯雨林材を利用する方法などがありますが、薬剤に頼らないレスケミカルな製品ニーズへの対応や、貴重な熱帯雨林資源を後世につなげるため、資源が充実している熊本県のスギの中から、耐久性の高い品種を探索する研究を行っています。

また、熊本県のスギは大径化してきていることから、腐れの引き金となる木材表面の“割れ”を抑える木取り（製材の仕方）に関する研究などにも取り組む予定です。



《水産研究センター》

県水産研究センターでは、有明海や八代海沿岸の各県や国の水産研究機関と協力して海の水質調査や研究に取り組んでいます。

県水産研究センターをはじめとする各水産研究機関が調査した水質や赤潮などのデータは、以下の独立行政法人水産総合研究センター西海区水産研究所ホームページを介して広く情報提供されています。

①有明海水質連続観測

(<http://ariake-yatsushiro.jp/ariake/top.htm>)

②八代海水質連続観測

(<http://ariake-yatsushiro.jp/yatsushiro/top.htm>)

③沿岸海域有害赤潮広域分布情報システム

(<http://Akashiwo.jp/public/kaikuListInit.php>)



水質分析のための海水の採水

《農業研究センター》

農業研究センターでは、農業における環境に負荷の少ない栽培技術の開発や、地球温暖化対策として農業由来の温室効果ガスの発生を抑制する技術の開発等について研究をしています。

<平成24年度>

- 環境に負荷の少ない栽培技術
 - ・温度管理法によるハウス暖房用重油削減技術の開発
 - ・化学農薬を削減するため、耕種的防除の組み合わせや紫外線カットフィルム等の物理的防除資材、天敵活用等の技術の開発
 - ・臭化メチル剤代替技術の開発
- 畜産飼料の自給率向上
 - ・飼料用米や食品製造副産物を利用した飼料給与体系技術の開発
- 温暖化対策
 - ・畑地への有機物等の施用が、畑地からの亜酸化窒素ガスの発生に及ぼす影響の明確化
 - ・家畜ふん尿から発生する各種ガスの発生を把握することによる、温室効果ガス発生抑制技術の研究

